

●発達心理学のための統計学

著者： 宇佐美慧・荘島宏二郎

発行： 誠信書房 / 2015年2月

価格：本体 2600円＋税

判型： B5判, 140頁

ISBN：9784414301939



【内容紹介】

幼児の言語発達、小学生の社会適応スキル、高齢者の身体機能や記憶・認知等、人間の発達に関わるさまざまな課題を分析するためのモデルを解説しています。本書では発達心理学に必須の縦断データをはじめ、幼児や高齢者でサンプルを取る際に頻繁に起こる欠測データの扱い、潜在成長モデル等を重点的に解説しています。詳細は以下の通りです。

第1章 言語発達を理解する——縦断データとは何か

第2章 縦断データにおける欠測を知る——欠測メカニズム

第3章 高齢者の結晶性知能の平均値を縦断的に比較する——構造方程式モデリングの基礎

第4章 社会適応スキルの発達軌跡をモデリングする——潜在成長モデルの基礎

第5章 複雑な発達の变化を表現する——非線形の発達軌跡のための潜在成長モデル

第6章 読書量と語彙力の変化の関係をさぐる——条件付き潜在成長モデルと多変量潜在成長モデル

第7章 脳機能と記憶能力の変化の因果関係に迫る——多変量自己回帰モデル

【出版社の書籍紹介ページ】

<http://www.seishinshobo.co.jp/book/b193069.html>

【著者紹介】

筑波大学人間系准教授 専門は心理統計学・教育測定学・データ解析

研究についてはこちら：<http://www.satoshiusami.com/>